

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	阿部 幸信		
NAME	ABE, Yukinobu		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記のとおりご報告いたします。

1. 研究課題

左右観の投影された二元的コスモロジーの世界史的展開に関する歴史地理学的研究
ー獅子像および教会建築を手がかりにー

2. 研究期間

2020・2021・2022年度 ※2022年度は新型コロナウイルス感染症特例対応により1年間延長

3. 費目別収支決算表

掲載省略

4. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

「左右」をめぐる観念については、これまで人類学的研究が主であった。本研究では歴史地理学の立場から、獅子像・教会建築を手がかりに、二元的なコスモロジーを左右の関係によって表現する方法の発生・伝播の過程を追うことを目的としていたが、新型コロナウイルス感染症およびウクライナ紛争のために現地調査を延期・縮小したため、獅子像に関する過去の調査結果の活用と文献の精査が研究の中心となった。その一部は、論文「南朝陵墓神道石獣的陰陽表現」として2023年度中に中国で刊行予定である。本論文は2022年3月に公表した日本語の旧稿をベースに、2021年8月に中国社会科学院の国際学会で報告した内容を一部加えたもので、江蘇省南京市およびその周辺に散在する南朝の皇帝陵・王侯陵に置かれた獅子像の雌雄表現について検討を加えている。結論として、南朝期の江南では、石獣に雌雄の区別を設ける場合、陵墓外側からみて右雌左雄（墓主から見ると左右逆）が原則であったことを明らかにした。この「南朝江南型」配置の起源に関して、中国ではこれに先立つ類例がないが、2022年にドイツおよびトルコで実施した調査により、南朝石獣に先行する古代ローマの墓石彫刻では、一対の男女を描く場合、左男右女を原則としていたことがわかった。ローマと南朝を結びつけるルートが不明なので、確たることはいえないが、西方から南回りで流入した習慣である可能性は想定してよい。この点の究明は今後の課題である。

（英文）

Most of the lion statues made in early medieval Jiangnan, or Southeast China, has sex distinction; the left ones are male and the right ones are female. This left and right arrangement is opposite to the traditional of Huabei, and interestingly, the same as depiction of husband and wife in ancient Roman grave relief.